



アシスタントの削除

Unified CM Assistant アシスタントを削除すると、Cisco Unified CallManager は、そのアシスタントの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、アシスタント *thudson* が、*hart* と *dstewart* という 2 人のマネージャに割り当てられているとします。*thudson* と 2 人のマネージャとのアソシエーションを削除するには、アシスタントとしての *thudson* を Cisco Unified CallManager データベースから削除します。削除した後も、ディレクトリには *thudson* がユーザとして残ります。

Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 (P.30-2)
- カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 (P.30-3)

クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

Cisco Unified CallManager ディレクトリ内で、マネージャとのアソシエーションからアシスタントを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Bulk Administration** > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA アシスタントの削除] > [クエリー] の順に選択します。[IPMA アシスタントの削除 (Delete IPMA Assistants Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのアシスタントを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。



(注) アシスタントを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

ステップ 5 [検索] をクリックします。

検索されたアシスタントのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

ステップ 6 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 Run Immediately オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、Run Later をクリックして後でアシスタントを削除します。

ステップ 8 [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.30-4 の「関連項目」を参照してください。

カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のアシスタントのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するアシスタントのユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-5 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してアシスタントのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Bulk Administration > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA アシスタントの削除] > [カスタム ファイル] の順に選択します。[IPMA アシスタントの削除 (カスタム) (Delete IPMA Assistants Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

■ 関連項目

- ステップ 2** [削除対象:アシスタント、検索条件] フィールドで、識別子 [ユーザ ID] を選択します。
- ステップ 3** 2 番目のフィールドである [カスタムファイル] ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。
- ステップ 4** [検索] をクリックします。
- 検索されたアシスタントのリストが表示されます。
- ステップ 5** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** Run Immediately オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、Run Later をクリックして後でアシスタントを削除します。
- ステップ 7** [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。
- ステップ 8** Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。
- ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。
- ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。
-

その他の項目

詳細については、[P.30-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除 \(P.30-2\)](#)